

No. 92

2015

11月15日発行

# 萩の郷

発行者  
下市田区  
発行責任者  
下井 美紀男  
印刷  
下市田・キタバヤシ印刷



さわやかな秋晴れに  
萩の郷文化祭り ふれあい広場  
消防ふれあい広場 開催！



秋も深まった十月十七日・十八日の両日、下市田区の「萩の郷文化祭り」、「消防ふれあい広場」、「萩の郷ふれあい広場」が開催されました。

二日間にわたり館内では、区民の皆様が日頃から努力された作品の展示、屋外では盆栽・菊の展示、また来年の御柱祭にむけ資料の展示もあり、大勢の皆様にご覧いただきました。

十七日午後からは、消防団第一分団の皆様と子供さんとのふれあい広場が行われ、消防に関する貴重な体験をすることができました。

翌十八日は「萩の郷ふれあい広場」を行い、御招待した七十五歳以上の皆様のうち百二十名の参加がありました。

開会の前には「土曜笑学校」の落語で笑い、会場は和やかな雰囲気につつまれました。

式典では、下市田区内にお住いの喜寿・米寿・卒寿以上の皆様百六十八名に下井区長より記念品が贈呈され、昼食後はステージ発表で、歌・ハンドベル・フラダンス・吹奏楽を楽しみ、最後に参加者全員で「信濃の国」の大合唱をし、一日間のフィナーレとなりました。

# 区の情勢について

区長 下井 美紀男

皆様にはご出席  
願い、追悼の意  
を捧げ平和を祈

今年もダブル台風とか  
集中豪雨で大災害に見舞  
われた地域がありました。  
防災は地域にとって大切  
な取り組みです。区民一  
同防災への認識と行動を  
確かめあいましょう。

(一) 本年は戦後七十年目  
という節目で、新聞やテ  
レビなどメディアでは戦  
争の犠牲者を悼むと同時  
に平和を問う、平和を語  
り考える機会として戦争  
と平和が大きく扱われて  
関心を呼びました。

下市田区では春と秋の  
萩山神社の例祭時に忠魂  
祭を執り行い、ご遺族の



(二) 次に区有林の状況を  
お知らせしておきたいと  
思います。山の神上の区  
有林のヒノキが立派に育っ  
ております。このほど森  
林組合からの提案もあり、  
保育間伐という位置付け  
で国と県の補助金を受け  
ながら、用材となる木に  
ついて搬出し売却するこ  
とにしました。面積は五  
ha余でした。間伐され  
た生きのいい元気な山に  
なります。

(三) 交通安全対策では、  
区内にいくつかの検討の  
必要箇所がありますが、  
河原の二区から出砂原に  
向かう農免道路の先線の  
拡幅改良と、五区の国道  
武陵地交叉点の改良及び  
信号機設置について事業  
化へ向け、地元協議に入  
ります。

## 中間監査報告

監査委員長 松村 一



去る十月二十日午後三  
時より、下市田区・公民  
館下市田支館・萩山神社  
の平成二十七年年度中間決  
算の監査を行いました。  
下市田区については、  
一般会計・特別会計の決  
算報告書に基づき予算の  
執行状況、収入支出の状  
況および整合性について  
監査を実施致しました。  
精査の結果、適正である  
事を認めました。  
下市田支館の決算につ  
いても、決算報告書に基  
づき監査を実施、適正で  
ある事を認めました。  
萩山神社の決算につい  
ては監査の結果、一般会  
計・特別会計とも適正で  
ある事を認めました。  
以上の通り報告致します。

## 平成27年度 下市田区一般会計 中間決算報告書

(自 平成27年4月1日～至 平成27年9月30日)

決算収入額 18,536,817円 決算支出額 8,202,448円 差引残高 10,334,369円

### 【収入の部】

| 科 目     | 予算額        | 決算額        | 増 減          |
|---------|------------|------------|--------------|
| 前期繰越金   | 7,159,552  | 7,159,552  | 0            |
| 区 費     | 15,650,000 | 7,671,700  | △ 7,978,300  |
| 町 支 出 金 | 6,620,000  | 1,708,535  | △ 4,911,465  |
| 財 産 収 入 | 1,150,000  | 89,980     | △ 1,060,020  |
| 地元負担金   | 161,000    | 91,600     | △ 69,400     |
| 消防義務金   | 1,620,000  | 1,600,000  | △ 20,000     |
| 諸 収 入 金 | 1,980,000  | 215,450    | △ 1,764,550  |
| 収入合計    | 34,340,552 | 18,536,817 | △ 15,803,735 |

### 【支出の部】

△印減 (単位 円)

| 科 目     | 予算額        | 決算額       | 増 減          |
|---------|------------|-----------|--------------|
| 総 務 費   | 13,298,000 | 3,845,771 | △ 9,452,229  |
| 環境衛生費   | 1,007,000  | 0         | △ 1,007,000  |
| 林 務 費   | 760,000    | 153,901   | △ 606,099    |
| 土 木 費   | 1,957,000  | 509,612   | △ 1,447,388  |
| 水 利 費   | 6,535,000  | 1,016,294 | △ 5,518,706  |
| 防 災 費   | 2,528,000  | 1,176,870 | △ 1,351,130  |
| 公 民 館 費 | 3,000,000  | 1,500,000 | △ 1,500,000  |
| 予 備 費   | 5,255,552  | 0         | △ 5,255,552  |
| 支出合計    | 34,340,552 | 8,202,448 | △ 26,138,104 |

## 平成27年度 公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成27年4月1日～至 平成27年9月30日)

決算収入額 2,385,664円 決算支出額 1,640,485円 差引残高 745,179円

### 【収入の部】

| 科 目   | 予算額       | 決算額       | 増 減         |
|-------|-----------|-----------|-------------|
| 繰 越 金 | 498,778   | 498,778   | 0           |
| 繰 入 金 | 3,000,000 | 1,500,000 | △ 1,500,000 |
| 補 助 金 | 520,000   | 380,800   | △ 139,200   |
| 雑 収 入 | 1,000     | 6,086     | 5,086       |
| 収入合計  | 4,019,778 | 2,385,664 | △ 1,634,114 |

### 【支出の部】

△印減 (単位 円)

| 科 目   | 予算額       | 決算額       | 増 減         |
|-------|-----------|-----------|-------------|
| 総 務 費 | 1,930,000 | 741,213   | △ 1,188,787 |
| 事 業 費 | 1,870,000 | 899,272   | △ 970,728   |
| 広 報 費 | 11,000    | 0         | △ 11,000    |
| 予 備 費 | 208,778   | 0         | △ 208,778   |
| 支出合計  | 4,019,778 | 1,640,485 | △ 2,379,293 |



よいしょー、よいしょー、よいしょー  
や～山の神様お願いだ～♪

# 萩の郷祭り

—7月25日—

## 地域の輪 盛大に

去る七月二十五日(土曜日)下市田区民会館広場にて、萩の郷祭りが盛大に開催されました。今年も萩の郷祭りを成功させようと、一ヶ月以上前から下井区長・仲平支館長を中心に計画準備を行ってきました。当日は、朝から担当部署に分かれて、テント張り・舞台作り・駐車場の割り振り・地区の座席決め・照明・音響設備の準備を行いました。午後になると、お楽し



「本当に火がつくの？」  
真剣に取り組んでいる子供たち

みコーナーの各青年会・やらまい会のテントが張られると、お祭り気分が高まり場が盛り上がってきました。そして、夕方五時半より、女性太鼓クラブ紅華の呼び込み太鼓により、お楽しみコーナーが開店し、開会式によりお祭りが始まりました。

第一部はいよいよ来年に迫った御柱のお祭りの中心となる木遣保存会の発表、第二部は紅華の皆さんの威勢の良い太鼓演奏、第三部は保育園児による愛くるしい園児ダンス、第四部は子供エアロビックスの元気いっぱい、第五部は各区の踊り、第六部は育成会による縄文の火おこし花火大会があり、子供たちが楽しそうに花火を行い、燃えカスと交換でジュースをもらっていました。第七部は納涼盆踊り大会

で、高森音頭などを踊り、最後はフォークダンスで締めくくり閉会式へと、無事に楽しい一日を終えることが出来ました。このお祭りにご協力頂いた全ての関係者の方々に感謝申し上げます。

北沢記



今年も登場 柿丸くん!  
子供たちも大喜び



平成二十七年度

下市田文化祭り

萩の郷ふれあい広場



## 芸術の秋 文化祭り

秋晴れの  
中、十月十  
七・十八日  
下市田区民  
会館に於い  
て「下市田  
「やまぶき亭」から細  
かな所まで全て手作り  
のちぎり絵などの作品  
が開催され  
ました。

屋内展示では、来年御  
柱祭が行われる事もあり、  
木遣り保存会から歴代の  
古文書研究会の方々の  
貴重な研究資料、色合  
い美しい小物やバック  
は、四区革工芸ク  
ラブ、幻想的、躍  
動感ある写真、水  
墨画・かな書道の  
会場には、力作が  
揃いました。



会場入口では、  
茶室「下市庵」が  
開店され、茶道ク  
ラブの皆さんによ  
るお抹茶の接待があ  
りました。

屋外展示では、三  
十年以上丹念に育て  
られた盆栽・ツツジ・  
菊が飾られました。  
皆様の協力によりとて  
も賑やかな文化祭りにな  
りました。

松島記



## 萩の郷 ふれあい広場

十月十七・  
十八日秋晴れ  
の下、七十五

歳以上の皆様をお招きし  
て平成二十七年度「萩の  
郷ふれあい広場」が区民  
会館に於いて開催されま  
した。  
ご長寿の表彰式が行わ  
れ、喜寿・米寿・卒  
寿の方々が表彰され  
記念品が贈られました。  
ここで祝宴・昼  
食となり、土曜笑学  
校・木遣りを観賞し、  
午後の部の舞台  
発表が始まりま  
した。



「ハニーベル・  
柿楽会・フラダ  
ンス・高森ニュー  
サウンズ」の皆  
さんによる「青い山  
脈・秋の童謡メロデ  
ィー・見上げてごら  
ん夜の星を」など馴  
染み深い曲の演奏に  
会場は拍手がおこり  
ました。



高森ニューサウンズ



柿楽会

池野記

# 消防ふれあい広場

消防団第一分団団長 小木曾伸太郎

日頃から消防団活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。

平成二十七年高森町消防団第一分団では「つながりと、人と人、地域との繋がりを大切にする」をスローガンとし、活動しています。

今年度も、「下市田文化祭り・萩の郷ふれあい広場」の一端として、消防ふれあい広場を開催させていただきます。

消防自動車乗車体験、子供用防火服試着体験、小型ポンプによる放水体験、煙体



験、煙体  
火器での  
消防自動車  
消防団第一分団では「つながりと、人と人、地域との繋がりを大切にする」をスローガンとし、活動しています。

今年度も、「下市田文化祭り・萩の郷ふれあい広場」の一端として、消防ふれあい広場を開催させていただきます。

消防自動車乗車体験、子供用防火服試着体験、小型ポンプによる放水体験、煙体

いろいろな体験をしてもらおう事ができ、楽しみながら防火意識、また消防活動へ少しでも関心を持てたらいいですね。

本年の活動は、消防団第一分団の活動で行っていく上で、このように地域のみならず、とふれあえる行事に毎年参加させていただきます。

## 萩山神社から

氏子総代長 中垣啓成



萩山神社の運営につきまして、区民の皆様のご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。

萩山神社は、平安時代の末期に松岡様が諏訪大社から建御方命を勧請、創建されました。

委員会活動報告

## 委員会活動報告

防災委員長 大場 優彦



防災委員会は、一区二名、二区から六区まで一

萩山神社式年御柱祭を執り行います。六十歳になる申年生まれの皆様を中心となり、早速実行委員会を結成して活動いただいております。

当日は、あいにくの悪天候でしたが、各自治会ごと安否確認と、消火栓を使った訓練や、消火器を使った訓練、軽便ポンプを使った訓練など、それぞれ自治会で、訓練を行いました。

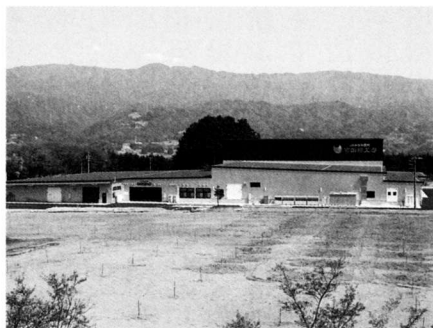
## 地元施設の紹介

### J A市田柿工房

課長補佐 南井政則

市田柿発祥の地高森町。下市田に稼働三年目を迎えるJ Aみなみ信州市田柿工房の紹介をさせていただきます。

平成二十四年四月に地域ブランドである市田柿



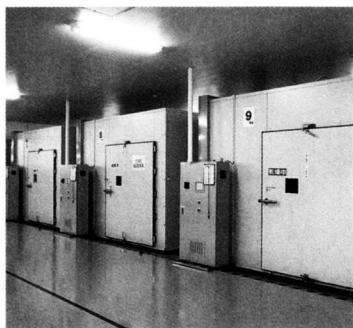
をより魅力あるブランドに高め、生産農家経営はもとより地域経済に

もとより地域経済に寄与する市田柿産業の拠点が完成しました。

本施設の完成に至るまで高森町及び地元の皆様、柿部会の皆様はじめ多くの関係者の方々によるご尽力とご理解により完成しましたこと心より感謝申し上げます。

管内で生産される『市田柿』は、平成十八年に地域団体商標に認定され、機械化や品質検査体制の整備も進み、当J A管内は日本有数の干柿産地へと成長してきました。

しかし、地域団体商標の取得によって市場等販売先からの要望が増える一方、産地では生産農家の高齢化や品質と生産量



の不安定化や生産量の減少、品質基準の不明確化などの課題が発生しており、品質管理とブランド

力維持に重点を置いた拠点の建設に至りました。

当施設は、食品製造処理加工施設の衛生環境等を整えると共に、安心安全な加工技術への取り組みとして、脱針式から吸引式剥き機への完全移行に伴った吸引式剥き機、収穫時期や天候に左右されにくい機械乾燥による乾燥期間を短縮した加工を行っております。

干柿については、自動計量包装機による全国大手量販店や生協へのプライベート商品の包装を中心

に特色ある商品づくりを展開しております。

当施設での生柿加工取り扱いは、一昨年一二年度の申込み数量二五〇tと、年々増加しており、当施設への期待の表れを実感しております。また、干柿の取り扱いは本年度三五〇tを計画しております。

## 地域の紹介

### 三区の紹介

三区副自治会長

柴田良昭

下市田三区は、伊那山脈南アルプスを南に望み、町民グラウンド

周辺や区民会館を中心とする地域及びJRより南側地域と、時間の経過と共に上段より順番に朝霧から陽

差しがのぞく地区に、約二百五十戸の自治会加入世帯が暮らしています。

中心部には区民会館・保育園の公共施設や歴史ある萩山神社等、区民が集

まる場所があります。

さて、三区力行会は明治以降防災

全国的に干柿生産への関心が強まる傾向の中で新たな消費者・多様化する消費者ニーズにこたえられる商品づくりを行い、

信頼のブランド『市田柿』を更に成長させると共に

今後とも地元の皆様にはより一層のご指導ご鞭撻

を賜り、本施設の稼働により『市田柿』の生産向

上と情報発信及び柿生産農家支援に寄与できるよ

う努力してまいります。

う場所があります。

さて、三区力行会は明治以降防災

防災活動を行うことにより、災害による被害の予防と軽減を図る目的として、本年防災委員会を発

足致しました。活動は委員会が作成しました防災減災マニュアルを全世帯に配布し、地域防災訓練に取り組みました。又、

災害に対して犠牲者を出さない安心して暮らせる地域を目指して定期的に会議を行っています。

又、主な自治会活動として、春には各常会が出演し笑顔が絶えないお好み芸芸会、秋には競技の進行とともに熱くなる隔

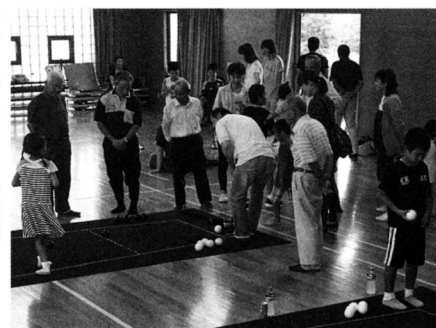
年行われる三区運動会、冬には運動不足を解消するペタンク大会です。そ

の他に最近では、子供と高齢者が交流する多世代

交流を開催しました。軽スポーツと食事を例年

実施して参りましたが、本年は防災の炊き出し訓

練を併合して実施しました。当日の軽スポーツの後には子供の保護者と炊き出しに協力していただいた地域の方々が握ったおにぎりとカレーの食事をとり、全員で防災クイズに挑戦して大いに盛り上がり楽しく親睦を図ることが出来ました。



この様に自治会主催する行事には、各世代の方々の協力により今日まで成り立って参りました。今後とも諸先輩が築いた明るく楽しく住みやすい三区を自治会として継承して参ります。

最後に地域の課題と致しまして、これからの三区を担う後継者が育って

いけるような環境作りが必要だと思います。

必要だと思います。

## 応援団の銘を受け

一区 中村 英之

えていただき感謝致します。

メンバーは三

## 随想

### 木犀の頃

三区 中村 あけみ

重い鞆を手に急な坂道を登りきった瞬間、鼻腔から幸せに思う。に広がった金木犀の香。暫し幸福感に包まれた高三の私…。以来木犀の頃、必ずその場面が甦る私も、いつの間にか還暦を過ぎた。



縁あって下市田の住人となつて約三十年。冠雪の夕暮れ時、桃色に輝く姿の殊に美しい仙丈岳を

眼前に、時に躓きながらも、温かな地域の方々の中で暮らして来られた事を心から幸せに思う。九年前と七年前、父母を共に発病一ヶ月で亡くして後、秋の色は沈んだ。けれど家族や周りの方々

のお蔭で少しずつ色を取り戻し始めた昨年の同じ十月。初孫が誕生。大きな喜びと共に、その彩やかな色も戻った。



は、それぞれがアイディアを出し合い作り上げた。特にオリジナル曲と子どもバックダンスは、それぞれがアイディアを出し合い作り上げた。精神的に練習してまい

本年度は運動会の場にて発表する機会には恵まれなかったものの、機会あらばどこかでまた披露する時には是非ご覧頂ければ幸いです。今後は数十年来の伝統を引き継げるようにメンバー一同一層の努力をしてまいります。大変お世話様になりました。



## 二十八年御柱祭に向けて

実行委員長 三浦 喜久夫(三区)

イツーやあーあーやまのおねえがかみさまあーおねえがああアッだあー

七年に一度の萩山神社

木されました。

本梵天、御神木とひとつひとつ祭りの形が見えてきました。

歴史のある、しかし七

式年御柱祭が十一月二十

御柱祭は御神木・大縄・

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九日山出し、来春三月十三日に大縄うち、三月二十七日里びき・たて御柱の日程で行われます。

あけ、きやり唄と威勢のいい喇叭の音頭で力をおわせて御柱をひき回す単

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

いらない。子や孫、やがて生まれ来る子等に確実に手渡す事が、今を生きる私達の責任ではないか。

南小東階段横の健気な十月桜。初めて植え(北東に)漸く咲き始めたヘブンリーブルー。母の好きだったフシグロセンノウ。庭にたった一輪咲き残る橙色の…。秋の花々を眺めながら心から祈る。あの秋の不安は杞憂だったと笑える日の来る事を。

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

九月二十日には、木曾

土手へ落とし、川に落とし、鋭角・直角の角を、よいしょ！

区民のお祭りとして盛大に出来るよう、実行委員一同準備を進めています。区民の皆さんも御柱祭にむけて、こころひとつになれますようお願いいたします。

から取り寄せた檜で、御柱祭の旗とも言える本梵天が作られました。九月二十六日には本見立てが行われ、二本の御柱が選

てこ棒と五十メートルの大縄を駆使して人の力で前へ前へと進める。

一本の御神木と大縄が人々の心をつなぎ、心をひとつにして御柱をひき回す。区民の皆さんが集い力をあわせてつくりあげてお祭りです。

## 頑張った組体操

小六 原 実優 (四区)

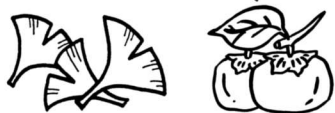
よ最後の種目組体操が始まりました。

十月三日に高森南小の運動会がありました。私が一番頑張った種目は、組体操です。毎日砂だらけになったり、裸足で小石をふんで痛くても頑張りました。

五年の時からクラスで倒立の練習をしてきたので、六年になってあまり苦勞せずにすみました。

私の運動会の目標は、「あきらめず最後まで全力をつくす。」です。

そして迎えた当日、とても緊張しました。私は赤組で短きより走や、騎馬戦を頑張りました。色々な種目を終え、いよいよ最後の種目組体操

わたしの作文  
ぼくの作文

三人技一つひとつ技が終るたびたくさんの拍手が聞こえました。ファイナル巨大ピラミッドが終わり、エンディング最後は本部前であいさつをしました。クラス全員で「ありがとうございましたー」と言った時やりました。

## 私の家族

小五 花井友美 (五区)

私の家は九人家族です。

兄弟が七人いて一番上と一番下が十五才ちがいです。私は、兄弟の中で真ん中です。上から四番目、下から四番目です。兄弟を一番上からしよう会していきます。十七才のお兄ちゃん、ちよつといじわるだけど、でもやさしい所もあります。十四才のお姉ちゃんは、とてもおもしろいです。十二



きった気持ちもあったけど少しさみしかったです。小学校最後の運動会は、悔いのない思い出に残る最高のものになりました。

才のお姉ちゃんは、よく私と遊んでくれます。七才の弟

は、やんちゃでいつもみんなを笑わせてくれます。五才の妹は、すぐなくけど元気です。もうすぐ二才になる妹は、とにかくかわいいです。こういう兄弟がいるから、毎日が楽しくなるんだと思いました。しょう会は、これで終わりです。

次は、家の生活のことです。家は農家ではありません。でも近じよの方がいろいろおすそわけをしてくれるので感謝しています。支え合って生きるといのはすごいことだとあらためて思いました。

## 代議員会研修旅行



「やっぱり、日頃の行を汲み、糖尿予備軍もいがいと違うな」を挨拶代わりにバスに乗る。八月下旬よりの雨雲が青空に変わった九月四日朝、目的地、富岡製糸工場へと出発した。コースのメニューは変化に富んでいて、好奇心旺盛な参加者二十二名を十分に満足させてくれた。「無言館」で作品を目の前にすると、七十年の歳月を超えて訴え続ける戦没画学生の声が残してきてきた。別所温泉で北向観音に手を合わせ、

せ、参道に湧き出る温泉水を参拝し、昼食後、サファリパークに着いた。千頭が日替わりで出演しているという。リピーターが減らない秘訣かもしれない。陽は妙義山に傾き、広がるうす雲に、明日は雨と予想し帰路に着いた。日本の近代化を熱く語る、富岡製糸工場の案内役、亀井さん。丁寧なバスガイドの松澤さん。そして、参加二十二名一人一人の言葉がよみがえってくる。さあ、三日後の八日は「下市田定例代議員会」だに。研修の成果やいかに。

白き繭 運びし道は

父母の

汗光る坂 夢紡ぐ辻

片桐和夫記

## 編集後記

朝に夕に萩の郷にも深まりゆく秋を感じる時期となりました。

今年は好天にも恵まれ夏・秋の大きな催し、他多くの事業が順調に楽しく出来ています。皆様方の御協力に感謝します。